

東京国税局管内納税貯蓄組合連合会 優秀賞

税の未来へのバトンパス

東三鷹学園三鷹市立第六中学校

三年 菊池 更紗

私の夢は海外で生活することです。言葉も文化も違う異国は、一度も海外に行ったことのない私にとって、とても輝いて見える存在です。しかし、外国で暮らした人の体験談を見聞きすると、皆口を揃えて言う事があります。それは「日本の治安の良さ」や「四季があることの素晴らしさ」です。長く暮らした地をいざ離れてみると良さが分かる、という事は私にも経験があります。しかし、海外からの観光客や仕事で駐在している人も口にする、日本の素晴らしさ。これらはどのようにして私たちにもたらされているのでしょうか。

一つ挙げるならば、税によるものです。日本では、警察署や消防署、公園、ごみ処理施設、道路の整備等で税金が使われています。他にも、小中学校の校舎や椅子、黒板や教科書なども税金で賄われています。

では視点を海外から来る人に移します。よく「外国人が訪日した理由」を特集しているニュースを見かけます。理由は様々ですが、治安の良さに次いで多かったのが「風景・景色の観光」です。日本は海に囲まれた島国で、国土の約75%が山地です。四季があり、年間を通して美しい自然を楽しむことができます。そんな美しい自然に影を落とすのが、近年急速に進む地球温暖化です。地球温暖化とは、大気中の二酸化炭素等の濃度が増えると温室効果が高まり、結果として地球の平均気温が上昇していくことです。気候や生物など、自然界のバランスを崩していきます。対策として、環境負荷の抑制を目的に導入されたのが環境税です。一般的には「環境保全を目的とした税」を指しており、「地球温暖化対策税」もその中に含まれています。地球温暖化対策税は、化石燃料など温室効果ガスの排出を促すものに課税する仕組みです。そのため、排出量の少なく、省エネ機能が高い機器の購入を促し、長期的には二酸化炭素の排出量を減らす事を目標にしています。このように、美しい自然と澄んだ空気を後世に残すためにも税金は使われているのです。

海を渡った外国は魅力的です。外国の人からも憧れられる国、というのは素晴らしいです。しかし、自分の住んでいる国の良さを知らずに外国に行っても、その国の良さは伝わってこないでしょう。嬉しいことに、日本には世界から毎年多くの観光客が訪れています。治安の良さ、教育水準、自然・環境への取り組みなどは、税金が関わっている事を知りました。人々が当たり前の日常を過ごすためには、私たち一人一人が与えられた役割りを果たす必要があるのです。